

ご入会の方法

<郵便振込の場合>

同封の郵便振込用紙の通信欄に、ご希望の会員等種別の口に✓を入れ、「ご依頼人」に住所、氏名、電話番号をご記入の上、「年会費」をお振り込みください。

また、FAX やホームページでもお申し込みができます。郵便振込用紙をお送りいたしますので、既定の年会費をお振り込みください。

郵便振替口座：00220-1-51770

口座名義：環境文明 21

会員等種別		年会費
正会員		9,600 円
賛助会員	個人(1口)	9,600 円
	団体(1口)	50,000 円
	企業(1口)	100,000 円
	学生	3,000 円
サポーター		3,000 円
購読		9,600 円

正会員は、当会の総会における議決権を有します。

賛助会員およびサポーターは寄付金控除が受けられます。

<銀行振込の場合>

別途、お名前と連絡先を事務局までお知らせください。

取引銀行：ゆうちょ銀行〇二九(セロキョウ)店(当)0051770

口座名義：環境文明 21 (カンキョウブンメイニジュウイチ)

会員等種別

	正会員	賛助会員	サポーター	購読
総会での議決権	○	—	—	—
会費の寄付金扱い	—	○	○	—
情報受け取り				
・会報誌の送付	○	○	3ヶ月お試し	○
・特別発刊物の進呈	○	○	—	○
・Webでの会報閲覧	○	○	—	○
・会報等への寄稿	○	○	○	○
イベントへの参加				
・全国交流大会	○	○	○	○
・企業会員の集い	○	○	○	○
・部会活動	○	○	○	○
・エコツアー	○	○	○	○
・その他のシンポジウム等	○	○	○	○

代表・顧問から皆さんへ

環境文明 21 は、「環境問題は文明の問題」という認識で 25 年前にスタートした NPO です。この 25 年の間に、人々の暮らしは物質的には豊かになったように見えますが、それが本当の豊かさなのか疑問に感じることもあります。なぜなら、温暖化に伴う気候変動はますます激化し、毎年多くの人々の生命・財産を奪うほどの気象災害が世界中で頻発しているからです。また生物界では環境の悪化により種や個体数の減少が顕著になっており、多くの専門家が地球史上 6 度目の大絶滅の危機にあると指摘するほどです。このように、私たちの生命の基盤である環境の悪化はますます深刻化しています。加えて、グローバル化する経済の中で、貧富の格差は拡大を続け、私たちの暮らしや社会の安定を根こそぎ破壊するほどの規模とスピードで進行しています。

こうした状況を少しでも食い止め、子どもたちに、「安心・安全で心豊かに暮らせる持続可能な社会」を引き継ぐためには、私たち自身の価値観や社会・経済の仕組みそのものを見直し、変えていく勇気を持つことが不可欠です。

そうした新たな文明づくりに向けて、独立した専門家としての視点を持ちながら、市民の心を大切に、市民の立場で行動する私たちと一緒に活動してみませんか。

(藤村コノエ、加藤三郎)



認定 NPO 法人 環境文明 21

Japan Association of Environment and Society for the 21st Century

〒145-0071 東京都大田区田園調布 2-24-23-301

TEL: 03-5483-8455 FAX: 03-5483-8755

E-mail: info@kanbun.org

URL: http://www.kanbun.org/



持続可能な環境文明社会の構築を目指して

私たちは、今日の混迷する社会にあつて、特定の利害にとらわれず、長期的な視点を持って、次世代も含めた全ての人が、安心・安全で心豊かにいきいきと暮らせる持続可能な社会を創ることを目指して、1993 年から活動している NPO です。

解決しなければならない課題を明確にし、先人の知恵なども参考にしながら、有限な地球環境の中で、私たちはどのような価値観を持ち、どのような社会を築いていけばいいのか、その羅針盤となり、一歩ずつでも社会を変えることが私たちの目標です。

認定 NPO 法人 環境文明 21

Japan Association of Environment and Society for the 21st Century

活動の4つの柱

最近の活動

調査研究

- 環境文明社会の価値・社会基盤・暮らしの提案と普及
- 環境 NPO 全国組織グリーン連合の運営協力と市民版環境白書作成
- 経営者「環境力」大賞事業の継続と経営者「環境力」クラブの運営

政策提言

- 気候変動を乗り越える地域社会づくりのための人材育成と政策提言活動支援（鳥取環境大学）
- 持続可能な脱炭素都市「奈良モデルの提案」活動支援（奈良市）

普及啓発

- 企業人の環境力アップのための研修
- ストップ温暖化ゲームの出前授業



理事・役員等（2018年7月現在）

代表理事	藤村コノエ	株式会社環境文明研究所副所長
顧問	加藤 三郎	株式会社環境文明研究所所長
理事	荒田 鉄二	公立鳥取環境大学環境学部
理事	井村 秀文	名古屋大学名誉教授
理事	上田 勝朗	一般社団法人全国浄化槽団体連合会 会長
理事	埋田 基一	企業環境マネジメントコンサルタント
理事	工藤 泰子	一般財団法人日本気象協会 主任技師
理事	許斐喜久子	奈良市地球温暖化対策地域協議会 幹事
理事	田崎 智宏	国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター
理事	内藤 弘	株式会社エックス都市研究所
理事	原 剛	早稲田環境塾 塾長
理事	松尾 友矩	東洋大学 常務理事、東京大学 名誉教授
監事	山口 耕二	認定 NPO 法人国際環境経済研究所 理事・事務局長

最近の助成金

環境再生保全機構地球環境基金、損保ジャパン日本興亜環境財団、西武信用金庫 他

調査研究

持続可能な社会はどんな社会か、どんな価値観、経済活動、制度を作っていけばいいのかなど、本質的な課題について調査研究を行っています。

①環境文明社会の構築とその普及

日本の持続性の知恵やグリーン経済などの研究成果を活かし、これまでの「経済」中心の社会から、「環境」を主軸に据えた新たな社会のあり方と実現策を研究し、普及に努めています。

②環境倫理／日本の持続性の知恵の探求

21世紀における精神性の基盤を探求し続けています。

③グリーン経済の探求／経営者の環境力大賞事業

持続可能な社会を支える、環境と調和した経済の姿を明確にし、それを実現させるための方策を探求しています。また、企業の有する環境力と経営について研究しています。

普及・教育

社会の有り様や考え方の基盤、環境の現状、科学的な最新情報や取組なども含めた「環境文明 21」ならではの本質的な情報を、多くの人に広めていくために活動しています。

①会報の発行（毎月発行）

持続可能な社会を創る基盤となる考え方や今後の方向、最新の動向やオピニオンを紹介します。

②「環文ブックレット」等の出版

調査研究や部会活動の成果を出版しています。これまで「環境文明社会」「日本を元気にする温暖化対策」「食と環境倫理」「欧米の NGO に学ぶ」「持続可能な交通を目指して」「飲料自販機から見える環境問題」等を出版。最近では脱炭素社会に関する書籍を出版しました。

③各種セミナーの開催

独自の手法で企業研修・セミナーの企画・運営を行っています。

政策提言

調査研究成果を元に政策提言を行います。さらに、公聴会等での意見表明、具体的法案・条例案を作成し提案しています。

①憲法に環境原則（持続性理念）を導入する政策提言

環境問題が世界の持続性を脅かす重要課題であることから、現憲法の三原則に環境（持続性）原則を加える提案を行っています。

②地球温暖化防止など環境・エネルギー政策に向けた提案

欧米などでの最新の取組を継続的に紹介しつつ、緊急提言等で日本政府に対し具体的提案をしています。

③環境教育推進法の成立ならびに改正法に向けた提案

当会が発案し、イニシアティブをとって活動した結果、議員立法で成立。改正法では多くの提案が採用されました。

④市民版環境白書「グリーン・ウォッチ」の編集支援

2015年6月に設立された『グリーン連合』が毎年発行する「グリーン・ウォッチ」の編集を支援しています。

交流

「環境問題は文明の問題」という視点で活動している当会の考え方や活動を広く知ってもらい、交流する機会を設けています。

①全国交流大会

全国の仲間との交流のため、年に1回開催しています。

②部会活動

調査研究や政策提言の土台を作る場として、毎月1回程度開催しています。

③エコツアーの実施

持続可能な地域のモデルとなる場所を見学。特に最近では佐渡を持続可能な地域にしていくための活動を地元の有志と続けています。また、全国各地にいる会員が地域の特色を活かした独自のエコツアーを企画・開催。これまでに、兵庫県豊岡市のコウノトリの郷、滋賀県高島市の生水の郷、奈良県薬師寺・山野辺の道等を見学しました。

普及・教育